

2019 年度実施概要

学校名

宮城県気仙沼市立大島中学校

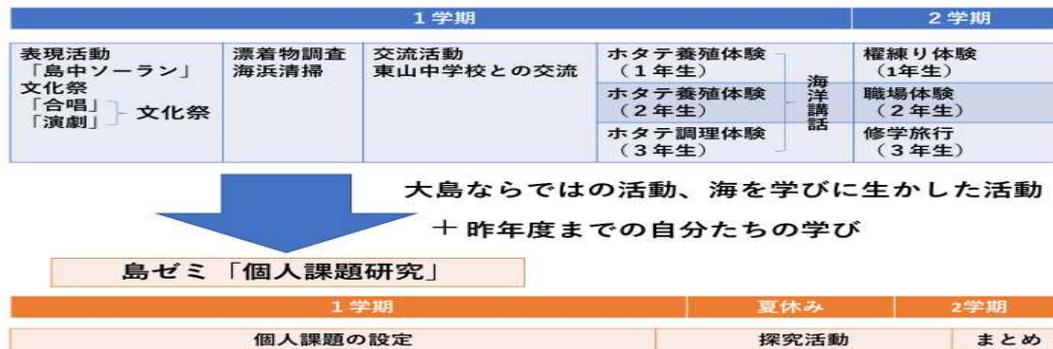
採択活動名

気仙沼市海洋教育研究開発事業

「ふるさとの海を知り，海とともに生きる力を育む」

取り組みの概要

- 1 テーマ 「30年後の大島に伝えたいこと」
～大島の良さを未来に伝えるために，今の自分にできることを考えよう～
- 2 ねらい
 - (1) 海を活用した体験活動を充実させ，地域の魅力を知り，課題の発見とその解決を図るとともに，人との関わりや将来の生き方を考えさせる。
 - (2) 活動を通して知ったこと身に付けたことを発信するとともに，効果的に伝えるための手段を身に付けさせる。
- 3 学習活動の概要



(1) ホタテ養殖体験【全学年】

中学校1年生は7月9日に、「背ばたき」「耳吊り」を行った。ホタテに付着した様々な生物を取り除いてきれいな状態にし，ホタテを筏に吊るせる状態にする作業で，生徒たちは講師の方の指示を真剣に聞き活動した。

中学校2年生は6月6日に、「水揚げ」「背ばたき」を行った。出荷のための選別を行い，ホタテを水揚げし，販売できるきれいな状態にした。ホタテの生態などについても講師の方々に質問し，知識を得ていた。顕微鏡を使い，ホタテに付着していた様々な生物の観察も行った。

中学校3年生は7月9日に「大島の美味しいホタテを実際に食べてみよう」として，自分たちで考えたメニューで調理実習を行った。大島漁協婦人部の方々を講師に迎え教を請うことで，大島の食文化の継承につながる活動であると考え，工夫を凝らして活動していた。

(2) 権練り体験【1学年】

権を使った操船経験や箱めがねを使っての魚介類観察経験は，先人から受け継いだ文化であり，これらの体験をさせたいとの思いから実施した。

(3) 小田の浜漂着物調査・清掃活動【全学年】

気仙沼海上保安署にご指導いただいて小田の浜の漂着物調査・海浜清掃を行った。島ゼミの活動の一環として一部の生徒がマイクロプラスチックの調査にもチャレンジし、6人の生徒がマイクロプラスチックに関連した内容を島ゼミの個人課題に設定した。また、ストローゼロ運動や大島 美しい海・島をいつまでも（ごみゼロ）ポスター製作プロジェクトにもつながった。

(4) 表現活動 島中ソーラン・合唱・演劇【全学年】

表現活動として「大島ソーラン」、「全校合唱」、「演劇」などを行った。中でも大島ソーランは1年を通して交流会やお祭りなどで披露され、その後の交流活動の活性化へとつながった。

(5) 島ゼミ「個人課題」(探究活動)

4月にウェイビング、養殖体験、海洋講話、海浜清掃などの活動を行う中で個人課題の設定を進めた。更に教員全員が講師役となり、生徒一人一人と対話形式で探究課題について話し合う活動を行い、海洋に関する内容だけではなく、大島ならではの自然や産業、地域の問題点など様々な課題を考えることができた。探究活動は総合的な学習の時間だけではなく、夏休みや休日も活用しそれぞれが行った。

4 成果と課題

(1) 成果

今年度初めて島ゼミとして個人課題を設定したことで、生徒が主体的に課題を見付け、探究する活動ができたことがあげられる。また、探究活動については情報収集の仕方でも個々に考えることができた点、職場体験や修学旅行も含め、これまでの経験を生かして活動のまとめができていた生徒が多かった点などが成果といえる。

全ての活動を通して、多くの生徒が「大島の将来のためにはどのような行動が必要なのか」ということを考えることができおり、地域の未来ことを考えた行動しようとする態度を育てることにつながったと言える。

(2) 課題

個人課題を設定し、探究活動を行う中で教師や講師のアドバイスを特に熟考することなくそのまま自分の課題として設定したり、設定した課題を解決する方法を考えるとできない、行動できないという生徒も見られた。教科の学習とも関連付け、継続した内容を計画し、実施していきたい。ホタテ養殖体験、合唱などを中心に、小・中合同の活動も多い。今後も小学校課程からの系統性をもたせながら、各教科、特別活動、総合的な学習の時間について、関連性を精査し活動を計画していきたい。

活動中の写真

デジタルデータにて2〜3枚の添付をお願いします。



1年 耳吊り



2年 背ばたき

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

- | |
|---------------------------------------|
| 1. ホタテ養殖体験活動（1年：耳吊り，2年：背ばたき，水揚げ，創作料理） |
| 2. 個人研究（大島の産業や環境，文化の発信について） |